

## 平成 28 年度八重垣神社祇園祭フォトコンテスト 総評・入賞作品講評

### ◆総評

今回が 4 回目のフォトコンテストになりました。毎回応募数が年々増加いたしております。昨年にも増して優秀な作品が多く寄せられました。53 名 141 点の応募数でした。回を重ねるごとに市民参加のコンテストにつながってきております。今年は女神輿の作品と祭りに参加している人達の開放的で楽しげな市民参加のスナップ作品も多く見られ祭りの楽しさを感じさせています。

でも今年も全体的にピントが甘い作品や、色合いを変えて写している作品もありました。このコンテストの目的のひとつに観光にも利用できる作品であること、自然色の色合いであることが判断基準のひとつになっています。目で見たとような色合いで写すにはホワイトバランスを晴天モードかオートホワイトバランスで写すようにします。作品づくりで大事なことは自分の意図が良く伝わるように写し撮ること、何を写したかが画面から強く感じさせる作品であることが大事と考えています。写す場所の空気感が出た作品は祭りの雰囲気伝えております。水掛祭りですから水の表情をどう見せるか、どう利用して作品にするかをよく考えて写し撮った作品も多く見られました。

### ◆入賞作品講評

#### 最優秀賞 「笑顔で歓迎」 北村 芳夫 様

誠に楽しげに祭りに参加している人達の姿を表情豊かに写し撮りました。声をかけて写されていることで祭りを心から楽しんでいることが表情から感じ取れます。良い作品です。スナップ写真は人物の表情が最も大事になります。5 人の人達とカメラマンと一緒に祭りを楽しんでいる、この場所の空気感に酔いしれながら写していることでこの作品が生まれました。カメラマンも



一緒になり盛り上げて写されたことがこの作品につながりました。ワイドレンズは近づくことで被写体を大きく写せます。思い切って近づいて写したことも良かったです。レンズの特性をよく理解して写し撮られました。

## 優秀賞 「神の水掛け」 多田 秀男 様

水掛祭りの光景が良く伝わる作品です。水の流れが良く伝わってきます。シャッタースピードが良かったです。神輿に掛けられた水の軌跡が上手くとらえられました。水の軌跡が作品を鋭く見せて、動きを感じさせる作品になりました。水に覆われた神輿ですが掛けられた水に覆われながらも中心は水が少なく、神輿の姿がはっきりと見



せることが出来たことも水掛祭りの姿を浮き上がらせる作品につながりました。

神輿や女神輿を担ぐ人達もしっかりとしたピントで神輿が流れないで写すことが出来たことが幸いしました。また光を上手に利用されました。作品づくりで光をどう利用して、読んで写すかは大事な要素のひとつです。

## 優秀賞 「お祭り楽し」 中根 英治 様

神輿を担いでいる人達に良くここまで近づいて写し撮られました。身の危険を感じながらの撮影でしょう。担いでいる人達の楽しげな、一年に一度の祭りを待ってました！そう感じ取ることが出来る作品です。大変良い表情を写すことが出来ました。ストレートに作者の意図が感じられる作品です。トラックの上から声援を送っている子供達の姿も入り市民祭りの様子が浮き上がっております。子供たちは脇役ですが作品を効果的に見せる大きな要素のひとつです。大事にしたいところです。作品から何かを感じさせる、物語を感じさせることが出来ました。



**優秀賞 「水掛け渡御」 後藤 秀美 様**



良いタイミングでシャッターを切られました。一斉に両手で神輿を上げている瞬間で水掛の様子も綺麗に写し撮ることが出来た作品です。デジタルカメラならではの ISO 感度を上げて高速シャッタースピードで動いている水の表情を美しく静止画として見せることが出来ました。皆さんの男気を感じます。後ろ姿の作品ですが心を一つにして神輿を中心に

したまとまりの良さを感じさせます。勢いと団結力も感じ取ることが出来た作品です。

**優秀賞 「楽しい飛沫」 君塚 義美 様**

水掛の水の飛び散るような、動きのある作品です。何か神輿から水が飛んできたようにも見えます。不思議な作品です。シャッタースピードが何分の一で撮られたかは不明ですが、良いタイミングで写し撮られました。今までこのような画像を見たことがありません。水の勢いとシャッタースピードの速さが上手くきました。神輿の担ぎ手の中に笑顔で女性が一人勇ましく参加されている姿にほっと一息、一服の清涼剤として見せることが出来ました。



## 優秀賞 「水を浴びる神輿」 丸山 力蔵 様

バケツ一杯の水が掛けられた瞬間を捉えて、水の表情を美しく写し撮りました。肉眼では見えないところを写し撮ることが出来ました。デジタルカメラの良さを利用して作品に仕上げました。かなりの高速シャッタースピードで撮っていますので水が広がり伸びていく姿を写すことが出来ました。覆う水の中に、神輿の中に静かに神様がおられるように感じ取ることが出来た作品です。しっかりとしたシャープなピントで写し撮られたことで作品に力が出ております。



## 入選 「暑さに負けず」 滑方 清 様

威勢よく女神輿の正面に行き、元気よく神輿を担いでいる女性を大きく写し撮った作品です。押しつぶされそうな状態の中での撮影でしたが何を写したかが良く分る画面にしました。

左側にいる女性の表情も良くこの作品を効果的にみせる脇役としての効果が伝わる作品です。中心の女性とカメラマンの気持ちが一体となってシャッターを切っている感じが画面から伝わる作品にしています。人混み多い場所、祭りなど込み合っているところで写すにはあらかじめピントを固定して絞りをやや深めにセットして写すことで撮影データをどうしようかと考えずに被写体に集中して写すことが出来ます。そうして写されていると思われれます。



## 入選 「 もり上り 」 住母家 茂 様

たくさんの人達に見守られながら進んでいく女神輿を望遠レンズで写し撮りました。八重垣神社の祭りの熱気が感じられる作品です。先頭で神輿を担ぐ女性の表情が良い瞬間を写し撮ったことがこの作品の一番良いところです。スナップ写真は表情が一番大事なところです。ちょっと気になりますのが左の男性の手が挙がっているのが入ってしまいました。祭りの雰囲気を出すにはいいのですが男性の手が背後にいる女性たちの表情を隠しているように見えます。それだけ主役を弱く見せてしまうことにつながったようです。



## 入選 「 水が来たー 」 木村 茂男 様



いい瞬間を写し撮られました。親に抱っこされながら祭りに参加している女の子の嬉しそうな姿に作品を見る者を思わず引き込まれそうな作品につながっています。何を写したいかが良く伝わる作品です。ちょうど神輿を上にあげている瞬間でもあり神輿の迫力感が背景にあることがこの作品を効果的に見せることにつながっています。作品づくりでは背景をどう処置するかで大きく作品の印象が違ってきます。神輿の迫力感と女の子の嬉しさの中に怖さを感じる作品につながっています。

## 入選 「降り注ぐ」 青柳 幹市 様



光を感じる美しい作品です。しっかりと神輿の姿をよく見つめながら写されています。気負いなく写されていることで好感を強く感じさせる作品につなげました。左下の暗い部分が効いています。この暗い部分が水の表情を効果的に見せてもいます。水の表情がやや流れるようなシャッタースピードで写し撮っていることが静かな中にいながら渡御する神輿の姿を厳

かに見せてもいます。光を余計感じさせています。

この光景に感動しながら写している感じが伝わってきます。作品づくりでは光をいかに利用して写して行く、どの位置から写すのが良いか考えていくことの大事さを教えています。

## 入選 「熱気」 御園生 一男 様

水が掛けられている光景ですが霧の中に神輿が居るようなそんな光景として写し撮った作品です。何か不思議な光景として写しだされた作品に感じさせる作品に仕上げています。何かを感じさせる作品は評価できません。大雨の中で神輿を担いでいるようでもあります。左下の二人や右側の担ぎ手の人達を入れることで作品として不思議さを感じさせています。



ただ力強さが周りを入れたことで訴える力を弱く見せたようです。神輿を上を持ち上げている瞬間を担ぎ手の人達と神輿だけで画面を作っても作品としての面白さが出てきたように感じます。

## 入選 「 鳳 凰 」 飯 野 高 様

掛けられている水が光に照らされて神輿を美しく見せることが出来た作品です。水飛沫により背景が消され、それだけ神輿を浮き上がらせることが出来た作品です。神様が乗っている神輿の姿をととても印象的に写し出した良い作品です。

高速シャッタースピードで撮られた作品でもあり飛沫の美しさを引き出しています。計算された作品です。ファインダーを見ながらシャッタースピードがどのくらいで絞りがどれくらい、露出補正がどうか、ファインダーを見ながら目線を下にすることで撮影データを素早く理解しシャッターを切っていいかどうかの判断が出来ます。シャープなピントで撮れていることで作品に力が出ました。



## 入選 「 一 瞬 の 輝 き 」 黒 田 太 様

頭にタオルを掛けながらびしょ濡れになりながらも神輿を担ぐ楽しさは格別です。そう感じさせる作品です。画面に写し出された人達の表情が三人三様で写しだされ見



ても飽きない作品になっています。天気が良いことで虹が発生した瞬間を逃すことなく写し撮った作品です。珍しい作品です。何か良いことが待っているような予感を感じさせる作品につなげました。祭りに参加した多くの人達を入れて祭りの雰囲気を出すことが出来ました。虹が出たときに露出補正を少しマイナスにして写すと虹を濃く写しだすことが出来ます。

## 入選 「 童心にかえって 」 片平 行弘 様

神輿を担ぎ終わった後でしょうか？若い女性たちがいい表情をした瞬間を写し撮った作品で、光を強く感じる作品につなげました。作品を立体的に見せることにつながり作品を美しく見せることが出来ました。

ややトップライトぎみの光ですがいい光線になっています。若い女性4人だけで画面を作ることでもいいでしょうが、より周りの人達を入れた画面にしたことで祭りの雰囲気を出すことが出来ました。祭りは人々を解放的にしてくれます。それだけ人物の表情が豊かになっており写し撮りたい光景です。



## 入選 「 一休み 」 小高 常志 様



二人は何を話しているのでしょうか？二人の会話が知りたくなるようなそんな雰囲気を強く感じさせる作品です。笑っている表情でもあり思わず話の中に入りたくなるような作品です。スナップの意味は早撮りとも言われます。良い瞬間を写し撮りました。

いなせな鉢巻き姿も慣れており、毎年参加されているようにも見えます。祭りに参加するのが楽しみという表情です。何気ない休憩時間もほっとした時間でもあり、人々の豊かな表情を捉えることが出来ます。上手に写し撮られました。



入選

「祭の日」

坂尾 正純 様



若いお母さんに抱っこされた赤ちゃんを主役にしながらかし撮った。微笑ましい光景に声を掛けながら正面からかし撮った作品です。赤ちゃんも法被姿でもあり将来、この作品も良い記念写真にもつながります。写真は写した瞬間から過去になります。貴重な作品です。この赤ちゃんも将来神輿を担ぐであろう元気な赤ちゃんに見えます。

祭は人々の絆の強さを強くさせる潤滑剤にもなっております。声をかけて写されたことでいい表情をしてくれました。気持ちを楽にして写すことにつながり、人を引き付ける作品につながります。スナップ写真では大事なことです。

◆審査委員長プロフィール

氏名：大坪信二

略歴：1944年山梨県生まれ。

1962年日本光学工業株式会社（現(株)ニコン）入社。広島、大阪、イギリスに駐在。

2001年ニコンカメラ販売(株)（現(株)ニコンイメージングジャパン）に出向。ニコン塾（現ニコンカレッジ）講師。

2004年定年退職。

現在はフォトカルチャー講師、写真グループ指導、生涯学習センター講師、写真通信添削指導などを務める。

写真ジャンル：ネイチャーフォト、祭りが中心

写真展：2001年7月「テムズ川の休日」ニコンサロン bis、2006年10月「村の絆」ニコンサロン bis ほかにグループ展多数

